



# JSBBA KANTO

## 公益社団法人 日本農芸化学会 2023年度 関東支部例会

日時: 2023年 11月 10日 (金) 10:30 開会(10:00 受付開始)

会場: 日本大学 生物資源科学部 2号館 211教室 (オンラインも同時開催)

交通: 小田急線 六会日大前駅(改札口から会場までは徒歩5分)

事前参加登録(HP): 11月2日(木) 正午締切

参加費: 無料

### 2023年度 奨励賞・トピックス賞受賞者講演

(日本農芸化学会会員だけでなく、非会員の方の参加も歓迎します)

#### プログラム

■ **開会** 10:30 開会の辞 竹中 麻子 副支部長(明治大学)

■ **農芸化学奨励賞受賞者講演**

10:40 佐藤 由也(産業技術総合研究所)

高度な遺伝子発現解析の環境研究・複合微生物研究への応用による革新的な環境技術の創出

11:10 手塚 武揚(北里大学)

希少放線菌の形態分化に関する分子遺伝学的研究

11:40 梶尾 俊介(筑波大学)

芳香族化合物の新たな微生物代謝の発見とバイオマス材料の開発

12:10 宮本 哲也(北里大学)

細菌における D-アミノ酸代謝経路の解明と多機能型アミノ酸代謝酵素の発見

12:40 ~ 13:40 昼休憩

■ **トピックス賞受賞者講演**

13:40 手塚 大介(農研機構)

ゲノム編集による「グルテン」形成オオムギの創出

13:52 森 信之介(慶應義塾大学)

ユキツバキとヤブツバキ: 鳥媒花のヤブツバキでは花弁中の p-クマロイル基結合型アントシアニンがハチへの視認性を下げる

14:04 高橋 裕(東京大学)

大量培養を志向したヒト小腸オルガノイドの培養技術開発

14:16 清水 誠(お茶の水女子大学)

乳酸菌由来γリノレン酸代謝産物 γKetoD, γHYD はヒト小腸オルガノイドの脂質代謝を改善する PPARδ リガンドである

14:28 高城 博也(日清食品HD)

おからを活用した *Lipomyces starkeyi* 由来食用代替パーム油の低コスト化および高生産化

14:40 ~ 14:50 休憩

14:50 星野 翔太郎(学習院大学)

放線菌におけるヒ素二次代謝経路に関する研究

15:02 Yuxun ZHU (東京大学)

Discovery of an unprecedented use of thiamine diphosphate in natural product biosynthesis

15:14 鈴木 敏弘(東京農業大学)

伝統水産発酵食品「くさや」製造に重要な「くさや汁」中の微生物と成分生成との相関

15:26 宮下 和樹(日本大学)

酢酸菌の光活性型転写アクチベーター LOV-HTH の機能解析

15:38 脇中 琢良(ヤマサ醤油)

醤油乳酸菌のバクテリオファージ感受性に関わる菌体外多糖合成遺伝子群の同定

15:50 ~ 16:00 休憩

16:00 原 克樹(筑波大学)

海洋細菌の遊泳持久力の多様性とそのメカニズム

16:12 吉留 大輔(東京大学)

窒素固定細菌を用いた大気中窒素を由来とする L-グルタミン酸生産法の確立

16:24 渡辺 智(東京農業大学)

シアノバクテリアにおける自律複製領域の探索とそれを利用した高発現ベクターの構築

16:36 中村 彰宏(長岡技術科学大学)

ドロップレットを用いた超高効率な微生物スクリーニングのためのクマリン系基質の開発

16:48 武政 誠(東京電機大学)

食感分析への深層学習の応用

■ **閉会** 17:00 閉会の辞 伏信 進矢 支部長(東京大学)

■ **懇親会** 17:30

本館地下一階  
オリビア

HP: <http://kanto.jsbba.or.jp/presentation/presentation2023/reikai-2-2.html>

例会担当: 袴田 航(日本大学) [hakamata.wataru@nihon-u.ac.jp](mailto:hakamata.wataru@nihon-u.ac.jp)

参加費

例会: 無料

懇親会: 3,000円

参加登録は  
ここから



アクセスマップ

会場: 2号館

懇親会: 本館

